

北海道における小水力発電普及による 地球温暖化防止推進事業

〒060-0807
北海道札幌市北区北7条西5丁目6-1
ストックマンション札幌205号室
電話:011-223-2062
E-mail:shimahata-atsushi@reoh.org
http://www.reoh.org/



ひろげる助成

2年目

実践



リージョナル・コーディネーター養成講座

アップグレード講座参加者 **18人**

廃止発電所の現地踏査 **18箇所**

今年度計画の達成度 **80%**

活動の全体目標に対する
達成度 **70%**

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

フォーラムでは、劇場公開で注目されていた映画上映であるが、主催者の意図が伝わりにくく、集客が進まなかった。

■ 工夫した点

映画上映は、関係者中心ではなく、より一般人への再エネ事業の必要性を訴求する意図であり、一般人の参加が増加した。

課題

小水力発電は地域が主体で事業化が可能な安定性の高い再生可能エネルギーであるが、北海道では事例も少なく、普及や開発推進のための人材や情報提供が不足している。

目標

①リージョナル・コーディネーター入門講座、アップグレード講座及びフィールド研修の開催 ②15か所の廃止発電所の現地踏査 ③北海道小水力フォーラム2018の開催

活動内容と成果

①講座による人材育成は、2カ年で24名となり目標水準に到達した。今後は質の向上と実際の地域での活動内容に力を入れることになる。②廃止発電所の現地踏査は、2カ年で30箇所にも到達した。今年度で明確になったこと

は、発電規模が小さいところが増え事業性が非常に厳しい点であり、今後は事業実現性の観点から発電所跡のみではなく、新設の可能性にも勘案していきたい。
③フォーラム2018は、当初の計画から変更して小水力を地域で開発し再生を進める映画の上映と関係者のトークセッションとしたが、目標人数を下回った。



北海道小水力フォーラム2018の登壇者

今後の展望

地域の人材育成に目途も立ち、小水力個別相談会を道内で地域と連携し推進する。また、小水力のような地域資源を活用した再エネ事業の必要性をフォーラムを通じた情報発信により一層の理解促進を目指したい。